

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

金ゴマを核とした地域振興プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

西脇市

3 地域再生計画の区域

西脇市の全域

4 地域再生計画の目標

西脇市では、水稻から他作物への転換を図る中で、収益性が高い転作作物として平成 20 年度から金ゴマの栽培に取り組んでいる。また、西脇市が、東経 135 度線と北緯 35 度線が交差する位置に存在し、古くから「日本のへそ」と呼ばれてきたことから、「日本のへそゴマ」と称して商標登録を行うなど、地域ブランド化を進めてきた。

西脇市産の金ゴマは、味や香り等その品質の高さから需要が高く、最高級品として取引されるなど、市場価値は高いため、需要に供給が追いついていない状況にある。

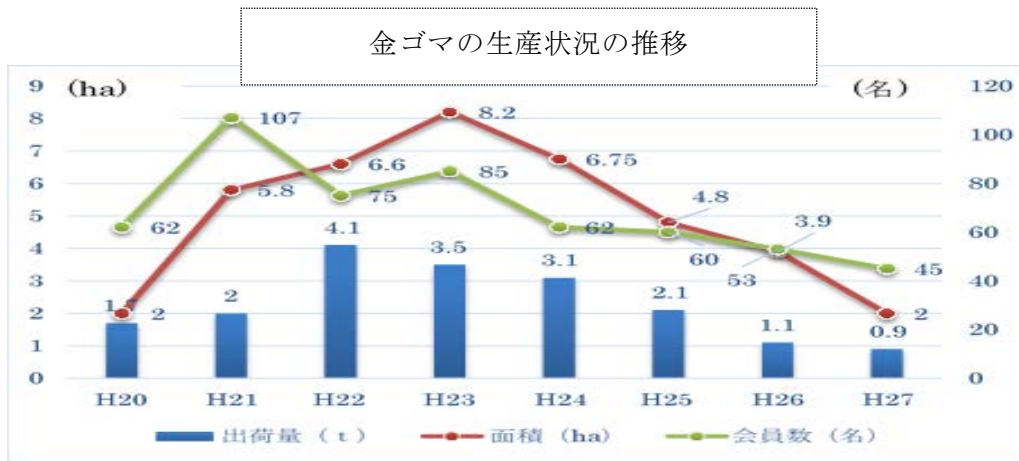
一方で、生産者の高齢化や機械化の難しさから栽培面積は、平成 23 年度の 8.2ha をピークに、平成 27 年度には 2.0ha まで縮小しており、担い手の確保が急務となっている。

西脇市としては、地域ブランドとして金ゴマ生産の維持、発展のため、生産者の確保及び生産拡大に向けた取組が必要である。

本事業は、金ゴマの生産で課題となっている作業工程の一部を障害者就労支援事業所へ委託することにより、農業を通じた障害者の就労機会を創出し、作業適性の検証を行いながら、作業受託体制の確立を進めるものである。

また、金ゴマ栽培の繁忙期の作業補助として農業ボランティア等を活用するなど、農家だけでなく多様な団体と連携しながら金ゴマ栽培を推進する体制を構築し、持続可能な金ゴマの生産振興に取り組む。

さらに、ゴマは一般に鳥獣被害を比較的受けにくい作物と言われていることから、農業の担い手不足や鳥獣被害により遊休農地が増加している中山間地域において、金ゴマ栽培を地域に普及させていくことで、遊休農地の解消を目指す。



【数値目標】

事業	金ゴマを核とした地域振興プロジェクト	年月
K P I	農福連携に取り組む事業所の増加	
申請時	0 事業所	H29. 1
初年度	1 事業所	H30. 3
2 年目	1 事業所	H31. 3
3 年目	1 事業所	H32. 3

事業	金ゴマを核とした地域振興プロジェクト	年月
K P I	遊休農地における金ゴマ栽培面積の増加	
申請時	0 アール	H29. 1
初年度	10 アール	H30. 3
2 年目	20 アール	H31. 3
3 年目	30 アール	H32. 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 (3) に記載

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

- (1) 事業名：金ゴマを核とした地域振興プロジェクト
- (2) 事業区分：農林水産業の振興
- (3) 事業の目的・内容

(目的)

水稲から他作物への転換を図る中で、収益性が高い転作物として平成 20 年度から金ゴマの栽培に取り組んでいる。また、西脇市が、東経 135 度線と北緯 35 度線が交差する位置に存在し、古くから「日本のへそ」と呼ばれてきたことから、「日本のへそゴマ」と称して商標登録を行うなど、地域ブランド化を進めてきた。

西脇市産の金ゴマは、味や香り等その品質の高さから需要が高く、最高級品として取引されるなど、市場価値は高いため、需要に供給が追いついていない状況にある。

一方で、生産者の高齢化や機械化の難しさから栽培面積は、平成 23 年度の 8.2ha をピークに、平成 27 年度には 2.0ha まで縮小しており、担い手の確保が急務となっている。

西脇市としては、地域ブランドとして金ゴマ生産の維持、発展のため、生産者の確保及び生産拡大に向けた取組が必要である。

本事業は、金ゴマの生産で課題となっている作業工程の一部を障害者就労支援事業所へ委託することにより、農業を通じた障害者の就労機会を創出し、作業適性の検証を行いながら、作業受託体制の確立を進めるものである。

また、金ゴマ栽培の繁忙期の作業補助として農業ボランティア等を活用するなど、農家だけでなく多様な団体と連携しながら金ゴマ栽培を推進する体制を構築し、持続可能な金ゴマの生産振興に取り組む。

さらに、ゴマは一般に鳥獣被害を比較的受けにくい作物と言われていることから、農業の担い手不足や鳥獣被害により遊休農地が増加している中山間地域において、金ゴマ栽培を地域に普及させていくことで、遊休農地の解消を目指す。

(事業の内容)

金ゴマの生産者で構成する「日本のへそゴマ研究会」に 80 万円を限度として補助を行い、農福連携及び農業ボランティアを活用した金ゴマの生産振興について検証する。

金ゴマの生産は、手作業での管理が必要となる栽培工程が多く、特に時間を要する「畝立て・播種」、「除草・間引き」、「収穫・乾燥」、「選別」、「調整」に係る栽培工程の一部を障害者就労支援事業所へ委託することで、障害者の就労機会を創出する。

また、受託可能な農作業のマッチング等、作業受託体制の確立に向けた検証を行う。

また、中山間地域での金ゴマ栽培による遊休農地等の解消と農業ボランティアの活用など、多様な団体との連携による持続的な金ゴマの生産振興に取り組む。

→各年度の事業の内容

・金ゴマを核とした地域振興プロジェクト

初年度) 農福連携に関心のある障害者就労支援事業所を募集し、金ゴマの栽培に係る作業の一部を支援事業所に委託するとともに、農作業のマッチング、作業にかかる所要時間などの検証を行う。また、農業ボランティアを活用した繁忙期の金ゴマ生産の作業補助についての検証を行う。

2年目) 初年度の検証結果に基づき、支援事業所が受託可能な作業を記載した作業工程表を作成し、金ゴマ生産の作業受託の実践に向けた検証を行うとともに、農業ボランティアを活用した繁忙期の金ゴマ栽培の作業補助についての検証を継続して行う。

3年目) 障害者就労支援事業所の金ゴマの作業受託体制の構築、本格的な農業ボランティアの受入れ等、多様な団体との連携による金ゴマ生産を推進する体制を構築する。

(4) 地方版総合戦略における位置付け

西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に、「地域に根ざす産業の活性化を通じて仕事と雇用を創出」を掲げ、「地域特性を生かした農業振興」を施策の基本的な方向性に位置付けている。また、具体的なKPIとして(西脇ファーマーズブランド延べ認証品目数:1000品目(H31))を定めており、本事業はまさにこの目標の達成に直接寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標(重要業績評価指標(KPI))

事業	金ゴマを核とした地域振興プロジェクト	年月
KPI	農福連携に取り組む事業所の増加	
申請時	0事業所	H29.1
初年度	1事業所	H30.3
2年目	1事業所	H31.3
3年目	1事業所	H32.3

※ 障害者就労支援事業所で当該事業に従事する障害者の数は定量的に把握できないため、事業所数をKPIとする。

事業	金ゴマを核とした地域振興プロジェクト	年月
KPI	遊休農地における金ゴマ栽培面積の増加	
申請時	0アール	H29.1
初年度	10アール	H30.3
2年目	20アール	H31.3
3年目	30アール	H32.3

(6) 事業費

(単位：千円)

金ゴマを核とした地域振興プロジェクト	年度	H29	H30	H31	計
	事業費計	800	600	196	1,596
区分	負担金、補助及び交付金	800	600	196	1,596

(7) 申請時点での寄附の見込み

年度	H29	H30	H31	計
法人	(株)和田萬商店	食料品製造業	食料品製造業	
見込み額(千円)	100	100	100	300

(8) 事業の評価の方法 (PDCA サイクル)

(評価の手法)

事業の KPI の達成状況について、産官学で構成する検討会において、事業の経過、結果についての検証を行い、改善点を踏まえて以降の事業手法を改善する。

(評価の時期・内容)

毎年 12 月頃に産官学で構成する検討会による効果検証を行い、以降の取組方針を決定する予定

(公表の方法)

目標の達成状況については、検証後速やかに西脇市公式WEBサイト上で公表する。

(9) 事業期間 平成 29 年 4 月～平成 32 年 3 月

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 32 年 3 月 31 日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

事業の KPI の達成状況について、産官学で構成する検討会において、事業の経過、結果についての検証を行い、改善点を踏まえて以降の事業手法を改善する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年 12 月頃に産官学で構成する検討会による効果検証を行い、以後の取組方

針を決定する予定

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後速やかに西脇市公式WEBサイト上で公表する。